

愛
は
う
ら
は
ら。
ら。

観世流能楽師

今村嘉太郎

IMAMURA
yoshitarou

葵

愛するキモチを抑えきれない
気高く美しい六条御息所。
源氏にまつわる物語を
詞章を読み解説し、
皆さまに楽しんでいただく
能のカタチを開催します。

2016.9.3 sat

時間：13:30開場・14:30開演・16:45終了

大濠公園能楽堂 福岡市中央区大濠公園1-5

全席自由席 5,000yen・25歳以下 2,500yen

※未就学のお子様はご入場できません ※25歳以下のチケットは身分証の提示をお願いします

8.21 sun 葵上ワークショップ 会場：大濠公園能楽堂広間 時間：13:00～14:00
※「葵上ワークショップ」は「葵上」のチケット持参の方は無料・チケットを持ってない方1000円

チケット
取り扱い

大濠公園能楽堂 TEL092-715-2155 <http://www.ohori-nougaku.jp/>
今村嘉太郎 TEL・FAX092-841-4800 ☎070-5416-2621 ✉yoshitarou0423@gmail.com
チケットぴあ(Pコード 451-421) セブンイレブン、サークルK・サンクス
ローソンチケット(Lコード 83335) ローソン、ミニストップ

お問い合わせ：今村嘉太郎 ☎070-5416-2621

助成：(公財)福岡市文化芸術振興財団「FFACステップアップ助成プログラム」 後援：福岡市・(公財)福岡市文化芸術振興財団

今回開催する能のカタチ「葵上」は、多くの方にもっと能楽を楽しんでいただくために、事前に、能の詞章を読んでから、わかりやすく解説をいたします。ぜひこの機会に、「能楽」の奥深い芸術性を体感してください。

舞囃子

高砂

八段之舞

住吉明神	今村嘉太郎	笛 相原 一彦	地謡 今村 嘉伸
		小鼓 幸 正佳	今村 一夫
		大鼓 白坂 信行	山口剛一郎
		太鼓 田中 達	高梨 万里
			井内 政徳

□解説 「舞囃子」というのは、能の略式の上演形態です。能の一部分を、面、装束をつけずに舞うものです。
結婚式でお馴染みの「高砂やこの浦船に帆をあげて」から始まり、立ち方は若い男神の役で爽快と力強く、しかも気品高く舞います。今回は「八段之舞」というテンポと激しい緩急がつく舞になります。

狂言

棒縛

太郎冠者 野村 万禄
主 吉良 博靖
次郎冠者 吉住 講

□解説 酒好きな太郎冠者・次郎冠者、二人の召使いは主人が留守になるたびに酒蔵へ忍び込んで盗み酒をする始末。この事を知りつつ今日も外出する予定の主人は、一計を案じてまず次郎冠者を呼び出し、最近護身術(棒術)稽古をしている太郎冠者にその型をさせ、隙を見て縄で括りつけようと提案します…。

朗読

元NHKキャスター古賀千尋さんが「葵上」の詞章を読み、解説します。

能

葵上

梓之出

六条御息所	今村嘉太郎	笛 相原 一彦	地謡 今村 嘉伸
巫 女	高梨 万里	小鼓 幸 正佳	坂口 信男
横川小聖	江崎欽次郎	大鼓 白坂 信行	森本 哲郎
臣 下	松本 義昭	太鼓 田中 達	今村 一夫
下 人	吉住 講		久保誠一郎
			井内 政徳
後 見	大西 智久		
	山口剛一郎		

□解説 源氏物語の葵の巻を題材にした人気曲の一つ。
左大臣の娘で光源氏の妻である葵上が、最近「物の怪」に悩まされているので、院の臣下が照日の巫女にその物の怪を呼び寄せさせる。すると、元皇太子妃、六条御息所が現れ、恨み言を述べる。御息所は葵上を責め打つと、彼女を連れ去ってしまおうという声を残して消え失せる。物の怪の正体が分かったので、横川の小聖が退治のために祈禱していると、やがて鬼となった御息所の怨霊があらわれ…。



今村嘉太郎 シテ方観世流

1980年福岡市生まれ福岡市在住。祖父今村誠、父今村嘉伸に師事(いずれも重要無形文化財保持者)、2歳半の時に能「鞍馬天狗」の稚児で初舞台。2003年より大西智久の内弟子として入門。2010年独立。



大濠公園能楽堂

福岡県福岡市中央区大濠公園1番5号

《アクセス》

地下鉄大濠公園駅または唐人町駅下車徒歩7分
西鉄バス黒門または大濠公園下車徒歩5分

能楽の理解と普及に向けて、様々なカタチでイベントを行っていますので、興味のある方は、ぜひご参加ください。

- 06月09日(木) 能のカタチ 山口県 洞春寺
- 06月15日(水) 能のカタチ 太鼓 福岡市大名 松楠居
- 08月17日(水) 能のカタチ 小鼓 福岡市大名 松楠居
- 12月07日(水) 能のカタチ 大鼓 福岡市大名 松楠居

<http://yoshitarou.com>



EVENT